

クワウンナイ沢遡行

霜田紗苗

念願のクワウンナイ沢遡行が実現した。ありがたく、心強き同伴者は千葉(*敬称略)。

【8月29日(月)：1日目】

6:00に天人峡温泉の駐車場に集合。ほかには日本山岳会の札幌からの男女5人がいた。

06:02出発。河原歩きに費やす1日の始まり。

6:26 ポンクワウンナイ出会い(586m) - 7:03 618m 二股 - 12:34 970m 二股

初日の宿である魚止めの滝(1100m)には12:43に着いた。

早々と追い越した5人もここに泊まるらしい。広い場所を彼らに譲り、私たちは脇に幕営。

何をしよう。まだお昼すぎ。うろうろしたいところだが、すぐ横が滝でそういうところでもない。眠くなった霜田は寝る。千葉はどこかへ。後から聞くと滝の上に行っていたらしい。

寝るとあつという間に夕方になった。16:30になり夕食の準備。五目ごはんとおみそ汁。

せっかく場所をあけたものの、後続はこなかった。

夜。“前原が負けた”。シュラフの中の千葉が突然言った。ひとりラジオを聞いていたようだ。一瞬何のことかわからなかつたけれど間もなく判明。今日は民主党の代表選だった。そんな時にこんな山中に寝ている自分がシュール。

【8月30日(火)：2日目】

4:30起床。朝食はらーめん。ほぼ予定通りの6:03に出発。

昨日も明日も今日のためにある。1.5kmほど続くナメ。クワウンナイ沢のハイライトだ。歩き出すとそのナメは始まる。しかし”長~い”“美しい”という前評判が先行したせいか、そんなにも”長~い”“美しい”という感じはしなかつた。

8:17に1360mの二股。両沢の間を通って本流におりるところを少し行きすぎて引き返す。

稜線は1830m地点だが、1500mあたりから源頭の雰囲気。イワイチョウがたくさん。沢の音が消え、一気に静かになる。小雨。

いよいよ源頭。カール風の場所にまたまたイワイチョウの群落。素晴らしい。沢靴から登山靴に履き替える。20年ほど前は地下足袋にわらじで登り、みんなここで脱ぎ捨てた。畳のようにわらじがずらーっと並んでいた、という非常におもしろい話を千葉から聞く。

源頭から稜線はガレ場。あちこちからナキウサギの鳴き声が聞こえる。12:10に稜線着。岩場にザックを置いてトムラへ。

ナキウサギに会えた！嬉しい。ウラシマツツジが紅葉している。

13:38 トムラの山頂着。雲で展望は開けず。13:55 発。

再びナキウサギに会う。今度は結構長い間眺めていられた。15:10にザックデポ地に到着。ちょうど昨日の5人が稜線にあがってきた。

2泊目のヒサゴ沼まで長い夏道歩き。とても良かった。

”大雪山で山の広さを語れ”。大町桂月の言葉を実感しながら歩く

16:50にヒサゴ沼避難小屋に到着。先着で3人の山ボーイがいた。

夕食は今回初めて買ってみたアマノフーズの”瞬間美食 香るチキンカレー”。ちゃんとチキンも入っていた。

【8月31日(水)：3日目】

霜田→例の5人パーティーの声で4:30、千葉→目覚まし通りの5:00、にそれぞれ起床。雑炊を食べて予定より1時間早い6:00に出発。最終日は17kmとかいう長い夏道歩き。

まず化雲岳へ。

振り返ると、くもりながらトムラや十勝岳連峰、東大雪の山々が見渡せた。

7:03 化雲岳。前にも後ろにも山々。

化雲岳、小化雲岳を過ぎ、第二公園へ。食い散らかしのハイマツの実がたくさん落ちていた。硬くて自分では開けられないハイマツの実を食べるチャンス。無味。

第一公園。木道があり、タチギボウシが咲いている。なかなかよい場所。しばらく休む。

第一公園を過ぎると森の中。終盤に近づいてきた。黙々と歩く。

落差250mの羽衣の滝の全容が見られる滝見台に着いたのは12:29。休んで12:38に出発。

300mの高さに33以上の折り返しがあるという”33曲がり”をへて13:25に天人峡に到着。千葉と握手。

いい山旅だった。沢も尾根も合わせて大雪山を満喫した。

計画書を書くのも出すのも初めて。手取り足取り千葉に教えて頂いた。ありがとうございました。